

# 環境活動レポート 2017

平成29年4月から平成30年3月

平成30年4月2日

一般廃棄物収集運搬委託・許可業者

株式会社 那珂川開発

## はじめに

本環境活動レポートは、平成29年4月から平成30年3月までの環境活動の結果をまとめたものです。

(挨拶)

株式会社那珂川開発は創業以来、那珂川町において一般廃棄物収集運搬を中心とした、安心・安全の事業活動を行ってまいりました。

地球環境保全に基づいた省資源・省エネルギーの推進が急務な課題となっている中、当社においても廃棄物の排出削減など環境負荷を低減させる責任と使命を痛感しております。

平成22年以来、当社は廃棄物の分別の徹底及び排出削減など環境保全を推進する事を目的とし、エコアクション21への取組みを続け、地球環境に優しい地域密着型の事業活動に努め、社会的要請に応えてまいりました。

ここに当社の環境保全への取組みの成果を「環境活動レポート」にまとめましたので、ご高覧ください。

# 目次

I. 組織の概要	1 P
II. 対象範囲	3 P
III. 環境方針	5 P
IV. 環境目標	6 P
V. 環境活動計画	7 P
VI. 環境目標の実績	8 P
VII. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	9 P
VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無	12 P
IX. 代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直しの結果	12 P

# I 当社の概要

## 1. 概要

会社名	株式会社那珂川開発
活動範囲	福岡県筑紫郡那珂川町全域における一般廃棄物の収集運搬、及びエコピア・なかがわ（一般廃棄物中間処理及び啓発プラザ）の管理運営
所在地	〒811-1224 福岡県筑紫郡那珂川町大字安德 59-2
連絡先	TEL092-952-9003 FAX092-952-9007
代表者	津屋 智子
取締役専務	津屋 雅臣
取締役常務	津屋 博臣
取締役部長	平山 良男

## 2. 環境保全関係の責任者及び担当者名連絡先

環境管理責任者	： 津屋 雅臣
E A 2 1 事務局	： 津屋 博臣
TEL	092-952-9003
FAX	092-952-9007

## 3. 事業の内容

- ①那珂川町より委託を受けた一般廃棄物収集運搬業務（家庭・事業系一般廃棄物）
- ②「エコピア・なかがわ」一般廃棄物中間処理施設・啓発プラザの管理運営業務

## 4. 事業の規模

創業年	： 昭和 58 年 7 月 27 日〔西暦 1983 年〕
資本金	： 1000 万円
年商	： 売上区分 A
従業員	： 43 名
保有車両	： 28 台
塵芥車（パッカー車、4t ダンプ、アームロール）	13 台
キャブオーバー（軽トラ）	2 台
2t 平ボディトラック	1 台/営業車 2 台
軽バン	1 台/乗用車 9 台
敷地面積	： 1554 m <sup>2</sup> （ 事務所・車庫 623.3 m <sup>2</sup> ）

## 5. 許可一覧

- ・福岡県那珂川町一般廃棄物収集運搬許可書（許可第 2 号）
- ・福岡県那珂川町リサイクルプラザ一般廃棄物搬入許可書（許可第 01 号）
- ・福岡県春日市一般廃棄物収集運搬許可書（許可第 23 号）
- ・福岡県産業廃棄物収集運搬許可書（許可第 04000012140 号）
- ・福岡県福岡市産業廃棄物収集運搬許可書（許可第 07700012140 号）
- ・福岡県久留米市産業廃棄物収集運搬許可書（許可第 11200012140 号）

## 6. 加盟団体

- ・全国清掃事業連合会
- ・福岡県清掃事業協同組合連合会
- ・筑紫地区清掃事業協同組合

## 7. 処理実績

- ・那珂川町一般廃棄物収集運搬委託業務実績（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）  
一般廃棄物収集運搬・・・・・・・・・・14,883,690 k g  
産業廃棄物収集運搬許可業務実績・・・業務実績なし

## Ⅱ 対象範囲

### 1. 組織

会社名 株式会社那珂川開発 本社

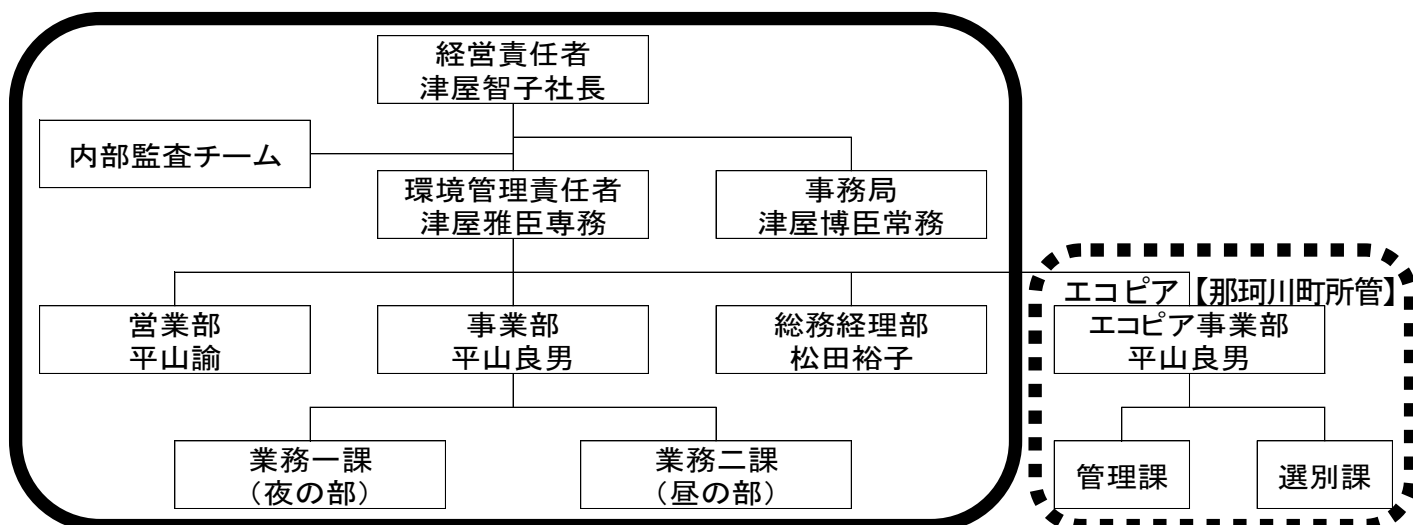
所在地 〒811-1224  
福岡県筑紫郡那珂川町大字安德 59-2

連絡先 TEL092-952-9003 FAX092-952-9007

### 2. 活動

- ①那珂川町より委託を受けた一般廃棄物収集運搬業務  
(家庭系・事業系一般廃棄物)
- ②「エコピア・なかがわ」  
一般廃棄物中間処理施設・啓発プラザの管理運営業務

### 3. 体制図



#### 【職名・役割】

職名	役割
経営責任者	<b>【代表取締役社長】</b> ①環境方針を定め、見直しを行う。 ②環境管理責任者をはじめ必要な責任者を任命する。 ③要員と所定の技能、技術と資金の経営資源を確保する。 ④環境マネジメントシステムの有効性を評価し、見直しを行う。 ⑤内部監査委員を指名する。
環境管理責任者	<b>【専務取締役】</b> ①環境マネジメントシステムを確立、実施、維持、管理する。 ②社内外の環境情報(法規制を含む)の調査、伝達、広報を実施し、法規制及びその他の要求事項について遵守評価を実施する。 ③環境に関する教育、訓練を企画し役員会議を統括する。 ④環境マネジメントシステムの運営状況に関して社長に報告する。
事務局	<b>【常務取締役】</b> ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
定期役員会	経営責任者・環境管理責任者・事務局で構成し、隔月1回環境管理者が召集する。 環境目標・活動計画の策定及び、進捗状況について管理する。 環境管理責任者が必要と認めた者は出席することが出来る。
提案改善委員会	各課で週1回開催し、環境目標・活動計画の策定及び、進捗状況について管理する。

# Ⅲ 環境方針

## 〔基本理念〕

株式会社那珂川開発は福岡県筑紫郡那珂川町の一般廃棄物収集運搬業務・許可業務及びエコピ  
ア・なかがわの管理運営業務を受託しており、循環型社会形成における重要な役割を強く認識し、  
その責任を確実に果たして参ります。

また安全かつ適正な処理は当然のこととして、当社の事業活動が地域に密着した活動であること  
をふまえ、環境保全を基本とした住民サービスの質の向上に努め、地域社会の期待に率先して応え  
て参ります。

これらの基本理念に基づいて以下の環境方針を定め、広く一般に公開いたします。

## 〔環境方針〕

1. 環境関連の法規制及び当社が地域社会やお客様と約束した事項を順守します。
2. この方針を実現するために以下のテーマを設定し、部門ごとの目的及び目標として展開します。
  - ① 省資源及び省エネルギーの推進
  - ② 廃棄物の分別の徹底及び排出削減
  - ③ サービス品質の向上
3. 環境マネジメントシステムを構築・運用することによりシステムの継続的改善を図るとともに  
環境汚染の予防に努めます。
4. この方針は全従業員及び当社のために働く人々に周知させます。

制定 2008年1月29日

改定 2010年1月31日

株式会社那珂川開発  
代表取締役

津屋 智子



# IV 環境目標

小数点以下四捨五入

		本社				
目標項目		2016年度 (実績)	2017年度 (目標)	2018年度 (目標)	2019年度 (目標)	2020年度 (目標)
			2016年度比 1%削減	2017年度比 1%削減	2018年度比 1%削減	2019年度比 1%削減
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> )		235,175	232,823	232,928	230,599	228,293
廃棄物の削減 (kg)		330	327	324	320	317
水資源使用量の削減 (m <sup>3</sup> )		771	763	711	704	697
グリーン購入	文房具 (%)	100%	100%	100%	100%	100%
本業における環境配慮 (回)		4	4	4	4	4

		エコピア・なかがわ				
目標項目		2016年度 (実績)	2017年度 (目標)	2018年度 (目標)	2019年度 (目標)	2020年度 (目標)
			2016年度比 1%削減	2017年度比 1%削減	2018年度比 1%削減	2019年度比 1%削減
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> )		61,690	61,073	59,040	58,450	57,866
廃棄物の削減 (kg)		358	355	351	348	344
水資源使用量の削減 (m <sup>3</sup> )		388	384	413	409	405
グリーン購入	コピー用紙 (%)	100%	100%	100%	100%	100%

“ 電力のCO<sub>2</sub>排出係数 : 0.374 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (九州電力平成20年度) ”

# V 環境活動計画

当社の主な活動内容は下記の通りです。

- 1、当社一般廃棄物収集運搬車両からの二酸化炭素排出量（排出ガス）の削減
  - ・アイドリングストップの徹底実施
  - ・空ふかしを行わない
  - ・急発進、急加速を行わない
  - ・法定速度の厳守、一定速度運転
  - ・車両出庫時の日常点検実施
  
- 2、電力の使用節減による二酸化炭素排出量（排出ガス）の削減
  - ・事務所、車庫休憩室での休憩時間の消灯
  - ・未使用時の設備電源OFF
  - ・冷暖房温度の設定（クールビズ・ウォームビズの推進）
  - ・省エネ機器への切り替え導入
  - ・排風ファン等の使用を控える
  
- 3、水資源の適正使用への管理
  - ・車両洗車時、大きなごみを掃き出し、洗車時の水使用を抑制する。
  - ・給湯使用時のムダをなくす
  - ・トイレタンク容積水量調整による使用量の削減
  
- 4、廃棄物の排出削減
  - ・排出量の管理
  - ・紙類の使用量の削減
  - ・再生紙の使用推進
  - ・両面活用
  
- 5、グリーン購入の推進
  - ・低環境負荷商品（文房具）の購入推進。（本部）
  - ・低環境負荷商品（コピー用紙）の購入推進。（エコピア）
  
- 6、本業における環境配慮
  - ・教育訓練の実施
  - ・啓発活動の実施

# VI環境目標の実績

< 2017年度取組結果（実績）と評価（全社総括） >

（平成29年4月～平成30年3月） 小数点以下四捨五入

本社							
目標項目	2015年		2016年度		2017年度		
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	達成率
	2014年度比 1%削減		2015年度比 1%削減		2016年度比 1%削減		
二酸化炭素排出量の削減（kg-CO <sub>2</sub> ）	221,909	296,221	293,259	235,175	232,823	235,281	98.9%
廃棄物の削減（kg）	336	334	331	330	327	327	100%
水資源使用量の削減（m <sup>3</sup> ）	564	658	652	771	763	719	105.8%
グリーン文房具 ン購入 (%)	30%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
本業における環境配慮（回）	4	4	4	4	4	2	50%

エコピア							
目標項目	2015年		2016年度		2017年度		
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	達成率
	2014年度比 1%削減		2015年度比 1%削減		2016年度比 1%削減		
二酸化炭素排出量の削減（kg-CO <sub>2</sub> ）	55,071	58,507	57,922	61,690	61,073	59,637	102.4%
廃棄物の削減（kg）	364	366	362	358	355	355	100%
水資源使用量の削減（m <sup>3</sup> ）	571	640	634	388	384	417	91.4%
グリーンコピー用 ン購入 (%)	30%	100%	30%	100%	100%	100%	100%

## Ⅶ環境活動計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容

各部門別データを含め、エコアクション21の取組みを機に正確なデータ収集、分析を行っている。

平成29年度データを集計し、平成29年度実績値は平成28年度比1%削減を目標とした。

二酸化炭素排出量の削減及び、本業における環境配慮の目標値を達成できなかった。

部門別評価（省資源省エネルギー・3Rの推進・サービス品質の向上）

[評価・・・目標達成○ 未達成× ある程度達成△]

年度目標達成状況の総括的評価・・・△					
対象項目	対象部門		部門評価	評価内容	総合評価
CO <sub>2</sub> 削減 省資源省エネルギーに並び	本社	総務経理部 営業部 事業部1課 事業部2課	×	主に化石燃料使用量が増加した。 業務拡大による増加が要因である。	△
	エコピア・なかがわ		○	目標値達成	
水の削減 資源使用量	本社	事業部1課 事業部2課	○	目標値達成	△
	エコピア・なかがわ		×	啓発イベント開催の為、消防設備を利用し放水にて異臭除去を行った結果増加した。	
排出物の削減	本社	総務経理部 事業部1課 事業部2課	○	目標値達成	○
	エコピア・なかがわ		○	目標値達成	
グリーン購入の推進	本社	総務経理部 営業部	○	目標値達成	○
	エコピア・なかがわ		○	目標値達成	
環境配慮 本業における	本社	総務経理部 営業部 事業部1課 事業部2課 エコピア・なかがわ	△	年間4回行っている啓発イベントのうち、2回が熱帯低気圧（台風）の影響により前当日、雨風が強く安全を考慮し検討した結果、中止の判断となった。	△

なお、受託した収集運搬業務にかかる事業活動内容を次に示す。

受託した一般廃棄物の処理量（那珂川開発）

（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
(那珂川開発) 収集運搬	家庭系ゴミ		12,493
	事業系ゴミ		2,213
	事業系ダンボール		
	粗大ゴミ		47
	不法投棄処理等		129
収集運搬量合計			14,883

また、次年度の取組内容を以下に示す。

<2018年度取組内容（全社総括）>

- 1、当社一般廃棄物収集運搬車両からの二酸化炭素排出量（排出ガス）の削減
  - ・アイドリングストップの徹底実施
  - ・空ふかしを行わない
  - ・急発進、急加速を行わない
  - ・法定速度の厳守、一定速度運転
  - ・車両出庫時の日常点検実施
  
- 2、電力の使用節減による二酸化炭素排出量（排出ガス）の削減
  - ・事務所、車庫休憩室での休憩時間の消灯
  - ・未使用時の設備電源OFF
  - ・冷暖房温度の設定（クールビズ・ウォームビズの推進）
  - ・省エネ機器への切り替え導入
  - ・排風ファン等の使用を控える
  - ・ガスファンヒーターの導入
  - ・太陽光発電の導入
  
- 3、水資源の適正使用への管理
  - ・車両洗車時、大きなごみを掃き出し、洗車時の水使用を抑制する。
  - ・給湯使用時のムダをなくす
  - ・トイレタンク容積水量調整による使用量の削減
  - ・井戸水や雨水の積極利用
  
- 4、廃棄物の排出削減
  - ・排出量の管理
  - ・紙類の使用量の削減
  - ・再生紙の使用推進
  - ・両面活用
  
- 5、グリーン購入の推進
  - ・商品購入時の低環境負荷商品（文房具）の購入推進。（本部）
  - ・商品購入時の低環境負荷商品（コピー用紙）の購入推進。（エコピア）
  
- 6、本業における環境配慮
  - ・教育訓練の実施
  - ・啓発活動の実施

## VIII環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 結果並びに違反、訴訟の有無

関連環境法規制等の遵守状況を確認・チェックしたところ、評価結果は全てを遵守していました。

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、環境関連法規等への違反はありません。関係当局よりの違反訴訟などの指摘も過去5年間ありませんでした。

関連法規	違反訴訟の有無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	違反なし
特定家庭用機器再商品化法	違反なし
自動車リサイクル法	違反なし
騒音規制法	違反なし
道路交通法	違反なし
指定管理者条例	違反なし
那珂川町個人情報保護条例	違反なし
那珂川町情報公開条例	違反なし
那珂川町廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	違反なし
那珂川町一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例	違反なし
フロン排出抑制法	違反なし

## IX代表者による全体の取り組み状況の評価 及び見直しの結果

今年度は、エネルギー消費において化石燃料使用量が未達成となっておりますが、業務拡大に伴う使用量増加の為、総括的な観点から見れば今年度は省資源、省エネルギーの取り組みの推進は問題なく達成できたものと考えております。

引き続き会社、個人それぞれ消費の削減に務め、環境への配慮を欠かすことなく事業を継続してまいります。